

	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<h2>有田市立箕島中学校</h2> <h3>自主 友愛 剛健</h3>	R4.5.9
			No. 6

暑すぎず晴れすぎずの穏やかな天気の中、先週の金曜日に遠足を実施しました。3年生はレクリエーションの逃走中でグラウンドを駆け回り盛り上がったようでした。どの学年も「疲れた…」「足が痛い…」といったこともありましたが、みなさんにとって良い思い出になったのではないかなと思います。箕島中学校のみなさんの良いところは遠足に限らず、何でも楽しめることだと思っています。



ハンターが狙ってます



← 3年生
河川敷
グラウンド

↑ 2年生 女ノ浦海岸

→ 1年生
津井の浜

ところで、学校生活におけるありとあらゆる取組には目的があります。こうなってほしい、このように育ってほしいというようなゴールがあります。少し難しいですが、国(文部科学省)が示している学校行事の目標の中に「集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら・・・」と記載されています。遠足ではどの学年も清掃活動に取り組みました。ゴミ問題は国や社会が抱えている大きな問題の一つです。最近ではプラスチックゴミを巡る地球規模の環境への悪影響が問題となりレジ袋が有料になったことはみなさんも知っていると思います。落ちているゴミを目の当たりにして、みなさんどのように感じたでしょうか。大切なことは、これらのことを自分自身の問題として考え、そのために積極的に行動するということです。これが「公共の精神」です。遠足で清掃活動をする意義はそこにあります。地域の方から感謝の言葉もいただきました。また、「集団への所属感や連帯感を深め」というのは「集団としての質を高める、いいチームをつくる」ということです。今回の遠足では、お互いに協力して、このような目標に迫ることができたでしょうか。みなさん一人ひとり、「集団への所属感や連帯感」「公共の精神」という観点からの振り返りを大切にしてください。